



つながる はじまる

なかの



平和の森小学校新校舎(予定)

小中学校 教員公募説明会

2026



アンケートにご協力をお願いいたします。

中野で
子育て先進区
子どもたちのために



中野区教育



中野区ホームページ
小学校・中学校

中野区は、平成27年からの学校再編計画により、学校の統廃合を計画的に実施し、現在は小学校20校、中学校は9校です。学校規模も中規模以上に整備されています。

中野区独自の任期付短時間勤務教員や支援員、校内別室指導支援員、エデュケーション・アシスタント、スクール・サポート・スタッフ、副校長補佐等を配置しています。さらに、区のスクール・カウンセラーやスクール・ソーシャル・ワーカーも配置しています。

中野区の出生率は高くありませんが、待機児童ゼロ施策の効果もあり、子どもが生まれてから子育てしやすい中野区に転居してくる家族が多く、小学校・中学校の児童・生徒数は年々増加しています。

●小学校

区立小学校は20校です。学級規模は12学級から27学級で、多くは17学級前後です。特別支援学級は、知的障害(固定学級)が6校、難聴・言語障害(通級指導学級)が1校あります。また、特別支援教室の巡回指導拠点校は6校です。



平和の森小学校新校舎(予定)

●中学校

区立中学校は9校です。学級規模は9学級から18学級です。特別支援学級は、知的障害(固定学級)が3校あります。また、特別支援教室の巡回指導拠点校が2校、不登校対応巡回拠点校が2校です。



明 和 中 学 校

子ども主体の教育

●子どもが選択する修学旅行や体験活動

「子どもを主体とした学校教育」の実現に向け、これまで教職員が決めていた移動教室先での体験活動や修学旅行先等について、児童・生徒の意見を反映させ、選択できるようにしました。

小学校では、移動教室先での体験活動、中学校では、校外学習先や修学旅行先等について、選択できるようにしています。



●子どもが使い方を決める予算

中野区では、「中野区子どもの権利に関する条例」に基づき、子どもが自分の考えや思いを表明する機会を充実させています。

具体的には、小学校には20万円、中学校には30万円を「子どもが使い方を決める予算」として措置しています。児童会・生徒会を中心に、子どもの自由な発想で学校の環境改善や企画が展開されています。

学びの環境整備

●電子書籍アプリ「Yomokka!」の導入

小学校全校にポプラ社の電子書籍アプリ「Yomokka!」を導入しました。このアプリは、4000冊を超える書籍の提供があることに加え、おすすめ書籍の紹介、感想の記録・共有など、児童の読書意欲を喚起する機能が豊富です。

●英語によるコミュニケーション能力の向上

英語の授業を質・量ともに充実させ、英語によるコミュニケーション能力の向上を図るため、ALTを活用しています。中学校全校にALTを全日配置し、生徒が日常的に英語に慣れ親しむことができる環境を整えています。

●多様な学びの場

複合施設「みらいステップなかの」内の教育支援室「フリーステップルーム」、チャレンジクラス「N組」、全小・中学校に校内別室を設置するなど多様な学びの場を用意しています。令和8年度には日本語学級も小学校3校、中学校1校で開設しました。



教職員への支援

●研究・研修の充実

様々な教育課題の解決に向け、中野区教育委員会「学校教育向上事業」研究指定校に全幼稚園、小中学校を指定し、各校で創意工夫ある研究活動が行われるよう支援しています。

複合施設「みらいステップなかの」内の「研修ステーション」を活用し、様々な研修や支援をしています。



●学校部活動の地域クラブ活動への移行及び教員の兼職兼業

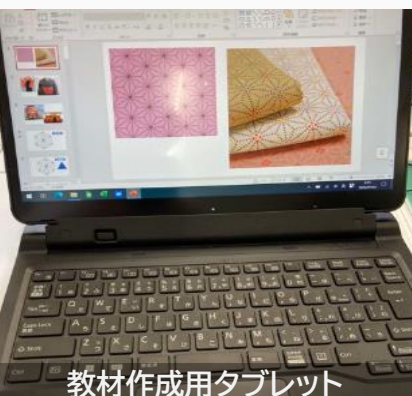
休日の部活動の運営主体を学校から地域クラブ活動に移行しました。

1校当たり3つの地域クラブ活動が休日に活動します。休日における地域クラブ活動の指導を民間事業者へ業務委託するとともに、1校当たり最大6名まで、教員の兼業兼職を認めています。

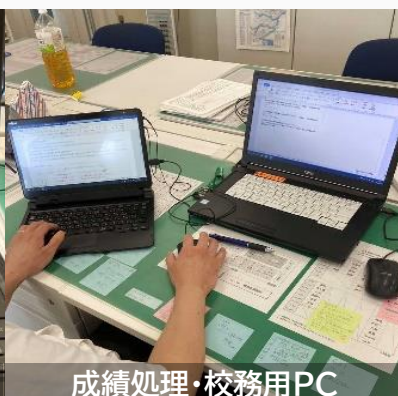
●テレワークの推進

中野区では、教職員の働き方改革の推進に取り組んでいます。その一環として、柔軟で多様な働き方を取り入れる観点から、※要件を満たした場合にICTを活用した自宅等における勤務を可能としています。

※要件(1)所属の勤務体制等を総合的に勘案して、校務に支障がないと校長が判断した場合
(2)成果又は成果物の確認が可能な業務、かつ、通常勤務と同等の職務を遂行できる場合



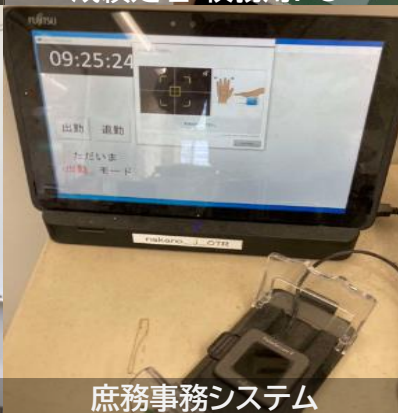
教材作成用タブレット



成績処理・校務用PC



75インチ電子黒板



庶務事務システム

●ICT環境

中野区では、教育現場のDXを推進しています。

特別教室を含む全教室に75インチの電子黒板を配置している他、無線LAN環境を整備し、教員1人につき1台の教材作成用タブレットを貸与しています。

児童・生徒には、1人につき1台の学習用iPadを貸与し、日々の学習活動や家庭学習において活用しています。

また、教職員の出退勤・休暇申請等についても、庶務事務システムにより管理しています。

Interview

～小学校編～

中野区に公募で
異動した小学校
の先生方にお話
を聞きました



● 中野区を選んだ理由は？

A先生：中野区はJR総武線、中央線、西武新宿線池袋線、地下鉄東西線、丸ノ内線、大江戸線といった多くの鉄道路線でアクセスでき、通勤が非常に便利だと思ったからです。

B先生：私は千葉県市川市に住んでいますが、JR中央線を利用すると1時間以内で通勤できます。鉄道は時間が正確なので、仕事の計画が立てやすいです。

C先生：中野区は二学期制を採用していて、学校行事や成績処理等の時間に余裕があると感じたからです。

D先生：私は、中野区に住んでいて、中野区内の学校なら自転車で通勤できると思ったからです。



みなみの小学校

● 中野区立学校の良いところは？

A先生：統廃合を計画的に行い、学校規模が確保できているので、各学校の教職員数が多く、助け合える雰囲気があり、子育て中でも休みを取りやすいです。また、中野区独自の任期付短時間教員が各校に配置されていて、授業支援も手厚いです。

B先生：特別に配慮を要する児童のために支援員が配置されており、手厚いです。宿泊行事はさらに支援員が配置され、教員の力が行き届かないところを補ってもらえるので、安心して実施できます。

C先生：教育に予算が多くかけられている印象があります。社会科見学など、校外学習ではバス代に区の支援があり、給食費も無償化されました。保護者からお金を徴収する不安がありません。

● 中野区立学校に異動してから印象に残ったことは？

A先生：連合行事である連合音楽会は、非常にやりがいを感じます。宿泊行事は中野区の施設が利用できるで、計画が立てやすいです。

B先生：エデュケーション・アシスタントや支援員、スクール・サポート・スタッフ等々、学校サポート職員が豊富で、教員の負担軽減を感じます。保護者も学校運営に協力的で仕事しやすいです。

C先生：ICTが充実しています。指導者用のデジタル教科書も全教科整備されていて、教員用のPCもインターネットにつながるので、教材研究がしやすいです。

D先生：体育館の冷暖房やトイレ等、教室以外の施設も充実していて、働く場所として快適です。



令和小学校

● 中野区の学校教育活動や教育環境で特に優れている点は？

A先生：前任地区は学校数が多く、教育研究会を実施しても人数が多くて、他校の教員とのつながりが希薄に感じました。中野区立小学校は20校ですが、教科ごとに分けられると適度な人数になるため、研究する環境としては優れていると感じます。

B先生：若い教員が多く、エネルギーに新しいことに挑戦してくれるので、とても心強いです。もちろん、ベテランの教員もいて、年齢構成のバランスがとれています。

C先生：前任校と比べ、学校設備が整っています。特に職員室の環境は、紙や消耗品が充実していて、必要な時にすぐ使用でき、教材研究や学校行事に力を注げます。

D先生：二学期制のため、学校行事が計画しやすいです。また、地域の方々は、学校行事に非常に協力的ですね。

● 中野区への異動に興味を持っている先生方へメッセージ

全先生：中野区は、先生方の人間関係がよく、小学校同士や学区域の中学校教員とのつながりもあり、協力関係ができています。また、設備が充実していて、教育予算も豊富なので、仕事がしやすいです。

中野区で一緒に仕事をしましょう。

Interview

～中学校編～

インタビュー項目

- (1) 中野区に応募した理由
- (2) 中野区に異動してから印象に残ったこと
- (3) 中野区立学校の良いところ
- (4) 中野区の学校教育活動や教育環境で特に優れている点
- (5) 中野区に興味を持っている先生へ

主任教諭(数学) R7年度公募



- (1) 公募説明会にて中野区の教育の現状を聞き、新たなことに挑戦し続ける中野区の教育方針に感銘を受けたため、応募しました。
- (2) 学校全体に活気があることです。生徒は様々な活動に意欲的に取り組み、教職員も「より良い学校をつくろう」という前向きな思いを共有しながら教育活動を進めています。互いを尊重し、支え合う雰囲気があり、安心して仕事に取り組める環境があります。
- (3) 「生徒主体」の教育活動を大切にしていることです。生徒の考えや思いを教育活動に生かすため、体育祭では、生徒が種目を企画し、運営する取組をしています。修学旅行や校外学習のテーマや行先を生徒が決定するという取組も始まりました。生徒が主体的に考え、挑戦できる機会を通じて、その成長を間近で感じられる点が魅力的です。
- (4) 学年所属以外のスタッフの方々が非常に充実しており、それぞれの役割がしっかりと細分化されているため、生徒へのサポートが行き届くだけでなく、教職員が働く環境へのサポート体制も整っています。周囲の多様なスタッフと連携しながら、安心して教育活動に打ち込める環境だと実感しています。また、今年から始まった教職員の兼業兼職を可とする部活動の外部委託も他地区とは違う取組だと思っています。
- (5) 生徒主体の教育を大切にし、生徒とともに学校を創り上げていくことにやりがいを感じられるはずです。新しい環境で挑戦したいと考えている方に、中野区の魅力を感じていただき、一緒に教育活動に取り組めることを楽しみにしています！

- (1) 新規採用として中野区で教員生活をスタートさせ、生徒に対して多くの教員や関係機関が連携し、手厚い対応をしていることを実感しました。中野区でまた、教育委員会や管理職、教員とともに生徒指導に携わりたいと思い公募しました。
- (2) 不登校生徒への人員配置やスクールカウンセラーの常駐、外国籍の生徒に対する日本語指導の充実など、様々な状況にある生徒に対する指導が組織的に行われていて、とても働きやすいと感じました。
- (3) 先生方が生徒に対して、非常に熱心に対応していて、教員の協力体制もあることがとても良いと感じています。優秀な先生も多く、様々な刺激を受ける中で、自分の成長を感じています。
- (4) 教員や生徒が使用する施設や設備が充実しています。教室には、大型の電子黒板や書画カメラが常備されていて、授業に非常に役立っています。職員室にある多機能印刷機やカラー拡大機、採点システム等の設備も充実していて、プリントやテスト問題の成績・評価に非常に役立っています。
- (5) 中野区は、様々な課題を抱える生徒に対しての対応を区全体で取り組んでいます。また、教員として自分の能力を伸ばしたり、他の教員と協力したりしながらやりがいを感じることもできます。通勤にも便利な学校が多いので、負担も少ないと思います。中野区で一緒に働きましょう。



主任教諭(国語) R6年度公募



- (1) 臨時的任用教員から教員採用試験の合格まで、中野区で大変お世話になりました。中野区でさらにキャリアアップし、貢献したいと考え公募しました。
- (2) 以前の学校は、若手教員が多かったのですが、中野区は若手教員から経験豊富な教員までバランス良く教員が配置されていると感じました。研究熱心な教員が多く、各自の強みを生かした指導を間近で見ることができ、励みになることが多いです。また、互いの仕事ぶりを尊重し合う文化もあり、協調性もあると感じています。
- (3) 教育活動を支援してくださる地域団体も多く、地域行事の中で生徒が活躍する場面も豊富で、各学校コミュニティ・スクールとなり、地域とのつながりを大切にしています。また、学校施設や設備も充実していて働きやすい環境もあり、中野区児童相談所等、外部機関との連携も取りやすい環境があります。
- (4) 特別な支援が必要な生徒が増加傾向にある中で、正規教員の配置や専門的な知識や技術をもつ教員の養成が進んでいると感じました。また、スクールカウンセラーや支援員、不登校別室担当等、組織的に生徒指導を行う基盤があり、教員の心理的な負担が軽減されているため、働きやすい環境だと感じています。
- (5) 都会と下町、双方の良さがあるバラエティに富む地域だと感じています。素直な生徒たちと「やってみよう」の精神で挑戦する楽しさを一緒に味わいましょう。

主任教諭(音楽) R6年度公募

ACCESS



小学校



中学校



【中野駅まで】

JR中央線で新宿駅から約5分

【中野坂上駅まで】

都営地下鉄大江戸線で練馬駅から約10分



美鳩小学校



中野東中学校

TALK SHOW



田代教育長が語る！
中野の教育について

第1回 13時55分 ~ 14時10分

第2回 14時50分 ~ 15時05分